

初の国際舞台へ闘志

「将来はスマイルジャパン」

アイスホッケー女子スリーオンスリーの日本代表としてユースオリンピック冬季大会に出場する、山梨英和中2年の長谷川聖奈さん（甲府市上町）は、開幕前に最終調整している。代表選出は初めてで、「世界の舞台で練習の成果を発揮したい」と意気込んでいる。

〈松本飛勇馬〉

ユース五輪代表に長谷川さん^(英和中2年)

長谷川さんは幼少期を米ニューヨークで過ごした。自宅近くにスケートリンクがあり、「氷の上を滑ってみたい」と小学1年でフィギュアスケートを始めた。4年の時、友人の誘いでアイスホッケーの世界へ。半年ほどで山梨に帰国し、「甲府アイスホッケークラブ・モンキーズジュニア」に所属している。

昨年9月、代表メンバーを決める選考会に臨んだ。日本アイスホッケー連盟によると、各地のプロック予選を通過した約20人が4人の代表枠をかけ、ハンドリングやスクーティングの技術を競った。長谷川さんは全体で4番目の得点をマークし、代表入りを決めた。

普段はフオワードを務めて

いるが、代表では攻撃と守備をこなすセンターで起用される見込み。モンキーズジュニアの古屋克仁監督は「男子にも当たり負けしない強い体とスクーティング技術の高さを生かして、悔いのないように戦ってきてほしい」とエールを送る。

大会は9月15日にスイス・ローザンヌで開催される。国対抗ではなく各国の代表選手が混合する8チームを結成し、予選リーグ、決勝トーナ

メントを展開する。
長谷川さんは「この大会を弾みにして、将来はスマイルジャパン（女子日本代表）に選ばれるように頑張りたい」と話している。



ユースオリンピック冬季大会に向けて練習する長谷川聖奈さん

＝甲府・小瀬アイスアリーナ